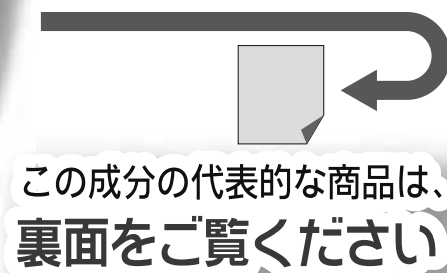


殺菌・消毒剤が 生乳に混ざると 数十億円 の 損害が 生じる可能性

『塩化ジデシルジメチルアンモニウム(DDAC)』及び『(モノ・ビス(塩化トリメチルアンモニウムメチレン))-アルキル(C9-15)トルエン』を含む殺菌・消毒剤



定期的検査で「モノ・ビス」が 検査対象に追加

〔モノ・ビス(塩化トリメチルアンモニウムメチレン))-アルキル(C9-15)トルエンが定期的検査で対象となります！

酪農業界では、生乳中への農薬等の基準値を超えた残留がないことを証明するため、毎年度、定期的検査を実施していますが、今年度は、〔モノ・ビス(塩化トリメチルアンモニウムメチレン))-アルキル(C9-15)トルエンの成分が追加され、検査されることになりました。



殺菌・消毒剤が生乳に混ざると数十億円の損害が生じる可能性

もし、誤使用により、生乳中に成分が混入し、牛乳乳製品の製品回収となった場合は、使用した酪農家の責任で、膨大な損害を被ることになります。



過去2度も定期的検査において殺菌剤の誤使用によりDDACが検出

平成19、21年度の定期的検査で基準値を超える塩化ジデシルジメチルアンモニウム(DDAC)が検出され、大量の生乳廃棄に繋がりました。いずれもDDACを含む殺菌・消毒剤の誤使用によるものでした。

また、細菌数や乳房炎を気にかけるあまり、殺菌・消毒剤の濃度が高いほど、殺菌力が増すと勘違いして使用しているケースもありました。

DDAC等を含む 殺菌・消毒剤を

- 1 搾乳直前の乳房・乳頭の清拭
- 2 搾乳器具の消毒後、不十分な水洗い
- 3 濾過布など用法に定められていないものの消毒

など不適正な

使用禁止

使用に当たっては、必ず使用説明書を読み、用法・用量を遵守し、適正に使用しましょう！
※不明な点は、販売店・製薬会社にお問合せ下さい。

社団法人 中央酪農会議

※DDAC等とは、塩化ジデシルジメチルアンモニウム及び
〔モノ・ビス(塩化トリメチルアンモニウムメチレン)]-アルキル(C9-15)トルエン

DDAC等を含む代表的な殺菌・消毒剤の一覧

	商品名	製造販売業者	販売元		商品名	製造販売業者	販売元
1	アストップ	科学飼料研究所	明治製菓	11	パンパックス200	フジタ製菓	
2	アストップ200			12	ベストシール	日本全業工業	
3	クリアキル-100	田村製菓	ベーリンガーインゲルハイム ベトメディカジャパン	13	モルホナイド10	サンケミファ	コーキン化学
4	クリアキル-200			14	モルホナイド20		
5	クリアキル・ドライ			15	ロンテクト	科学飼料研究所	
6	クリンエール	共立製菓		16	サニスカット	科学飼料研究所	
7	クリンエール・200			17	パコマ		
8	クリンジャーム	大阪製菓	上野製菓	18	パコマ200	科学飼料研究所	明治製菓
9	デスマック	ヤシマ産業	ロック化学製品	19	パコマL		
10	パンパックス100	フジタ製菓					

※商品番号1～14は、塩化ジデシルジメチルアンモニウムを含む殺菌・消毒剤

※商品番号15～19は、〔モノ・ビス(塩化トリメチルアンモニウムメチレン)]-アルキル(C9-15)トルエンを含む殺菌・消毒剤

※上記殺菌・消毒剤は、(社)日本動物用医薬品協会が発行している「動物用医薬品医療機器要覧2010年版」に記載しているものから抽出しています。

※ヤシマ産業は、平成23年4月1日より住化ライフテックに統合。

※明治製菓は、平成23年4月1日よりMeiji Seika ファルマに商号変更。